



2026 年 9 月 30 日
株式会社データ・アプリケーション

Press Release

データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON V2.9.0」を発売 ～ドキュメント出力機能と変換テスト機能の強化で、設計や変更、テストを効率化～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：安原 武志、略称：DAL、スタンダード市場：3848）は、データ連携や移行時のデータ加工・変換をノーコードで実現するデータ ハンドリング プラットフォーム RACCOON（ラクーン）バージョン 2.9.0 を、2026 年 9 月 30 日より発売します。

業務システム間のデータ連携では、連携先システムやデータフォーマットの変更に伴い、変換処理の設定内容の作成・確認・修正・テストが継続的に行われます。RACCOON V2.9.0 では、こうした開発・保守作業の効率化を目的に、変換処理の設定内容を確認できる変換定義ドキュメント出力機能と変換テスト支援機能を強化しました。あわせて、Java 25、Red Hat Enterprise Linux 10、各種データベースの最新バージョンへの対応を拡充しました。詳細は以下のとおりです。

【強化内容】

■ 変換定義ドキュメント出力機能に「画面閲覧用レイアウト」を追加

RACCOON では、データ変換処理の設定内容を Excel 形式で出力し、設計書やレビュー資料として活用できる「変換定義ドキュメント出力機能」を提供しています。

今回、新たに「画面閲覧用レイアウト」を追加しました。従来は印刷を前提として情報を集約したレイアウトのみでしたが、新レイアウトでは処理単位でシートを分割し、画面上で確認しやすい構成を実現しています。これにより、設定内容の把握や関連箇所の確認を容易にし、変換定義のレビュー効率向上を支援します。

詳細

指定区切り子_1_格納・データノード詳細

No.	フォーマット名称	マッピング名称	タイプ	外部データ型部品
4	都道府県番号	都道府県番号	整数	N/A

外部データ型	値の検証	
	定義情報なし	
	数値書式	
	個別設定を行う	*
	書式	0(3)
	リカバリー値の書式を設定	-
	構文文字	横文字列を変更
		通貨記号
		通貨文字
		JPY
データ操作	丸め処理	
	個別設定を行う	*
	丸め位置を変更	-
	バディングの判定	
	基本設定に準拠	
	空値の扱い	
	基本設定に準拠	
	NULLのチェック	
	基本設定に準拠	

全体

指定区切り子_1_格納・メッセージ構造

メッセージ情報

No.	1	2	3	フォーマット名称	マッピング	最小	最大		
1	都道府県	都道府県	都道府県	固定	0	N/A	-	N/A	
2	都道府県レコード	都道府県レコード	都道府県レコード	N/A	0	1	-	N/A	N/A
3	レコード識別	レコード識別	基本文字列	整数	N/A	N/A	N/A	*	
4	都道府県番号	都道府県番号	整数	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
5	都道府県名	都道府県名	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
6	都道府県名 (かな)	都道府県名 (かな)	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
7	人口	人口	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
8	市町村レコード	市町村レコード	N/A	0	-	N/A	N/A	N/A	
9	レコード識別	レコード識別	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	*	
10	市町村番号	市町村番号	整数	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
11	市町村名	市町村名	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	-	
12	市町村名 (かな)	市町村名 (かな)	基本文字列	N/A	N/A	N/A	N/A	-	

定義情報 目次 指定区切り子_1_抽出・設定 指定区切り子_1_抽出・Msg 指定区切り子_1_抽出・Sup 指定区切り子_1_抽出・詳細 DB検索_1 指定区切り子_1_格納・設定 指定

■ 変換テスト支援機能を強化

変換テスト支援機能は、フォーマット変換定義を作成する際に、変換結果を事前に確認しながら設定内容の妥当性を検証できる機能です。

今回の機能強化では、設定途中でも変換テストを実行できるようにしたほか、テスト結果の確認性を向上しました。変換テスト実行時にエラーが発生した場合は、その内容を画面上に表示することで、問題の原因を迅速に把握可能です。これにより、変換定義の開発効率向上と品質向上を支援します。

■ 対応環境の拡充

RACCOON の動作環境として、Java 25 (Oracle Java SE をはじめとする各種 Java VM) と Red Hat Enterprise Linux 10 に対応しました。また、データベースフォーマット／データベース検索の接続先として、Oracle AI Database 26ai、Microsoft SQL Server 2025、PostgreSQL 18.x、IBM Db2 12.1 などの新バージョンをサポートしました。

DAL は、データ連携・データ活用で不可欠なデータ変換・加工を実現するデータ ハンドリング プラットフォームを提供し、企業のデータ活用を促進します。

【RACCOON について】

<https://www.dal.co.jp/products/dhp/raccoon/outline.html>

【提供プラン（税別）】

- ・月額 48,000 円～

【提供方法】

- ・ 提供開始：2026 年 9 月 30 日
- ・ 提供経路：

DAL のビジネス・パートナーを通じて販売しています。

ビジネス・パートナーは、<https://www.dal.co.jp/partner/> でご確認ください。

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」を提供し、国内の EDI ソフトウェア市場でリーダーシップを確立しています。企業間・部門間・クラウド・SaaS など分散したデータをボーダーレスにつなげるデータ連携ソリューションは、すでに 3,000 社 15,000 サイトを超える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。

今後は、個人と組織がともに成長し続ける DIGITAL WORK を実現するために、企業をつなげる、データをつなげる、人をつなげる、そしてナレッジ（知識）をつなげる、「つなげる」ために必要な基盤技術「DAL PLATFORM」を提供してまいります。

【HP】 <https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【X】 https://x.com/dal_acms

【note】 <https://note.com/dataapplications/>

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel：03-6370-0909	Tel：03-6370-0909
Fax：03-3271-0066	Fax：03-3271-0066
E-Mail：pr@dal.co.jp	E-Mail：sales@dal.co.jp

※本プレスリリースに掲載されている当社の商品またはサービスの名称は、当社の日本国内および日本国外での商標または登録商標です。その他の商品またはサービスの名称は、他社の商標または登録商標です。